

知名御多出横

レコード

クラシック

平成 29 年 9 月 3 日

喫茶葦島

レコード

## 音盤

最近、なんだかレコードがブームなのだそうです。

『あの、レコードに針を落とす瞬間がたまらないんだよね』

『ちょっと古臭い音かもしれないけれど、懐かしいよね』

と、いう会話を聞くと、なんだかオートメーション化してしまった現代生活に安らぎや新鮮さを求めたり、ちょっとした懐古趣味というところでしょうか。

CDなどのデジタル音源に比べて音が劣っているとか悪いといわれがちなレコードですが、知名御多出横が音質低下の元凶をつきとめてなくしてしまう特殊装置を作ってしまうと、どうやらレコードから100%の情報を引き出すことができれば、圧倒的にアナログ音源の方が繊細で正確で臨場感のある表現ができることに気づきました。

最近の新しい発見なのですが、かえって、レコードに対しては、こんなにも長いあいだ十分な能力を出してあげなくてごめんなさいと謝りたいというのが本音かな。

でも、もう、レコードの良さを表現するのに、「味がある音ですから」と、無理な解説をする必要はなくなったようです。

本日は、半世紀もの間その実力を眠らされ続けた、巨匠達による珠玉の演奏を、録音会場そのままの雰囲気でお愉しみください。

ち な オ ー デ ィ オ  
知名御多出横

部屋のどこにいても透き通った音が、部屋の隅々まで行き渡る、  
沖縄生まれのオーディオです。

自然の摂理に従って、スマートフォンやCD・レコード等に関じ  
込められた音を束縛から解放してあげると、あら不思議、心地良い  
音楽で空間が満たされるのです。

機械の中からは、余計なものを一切省きました。  
部品ひとつひとつを繋ぐのも全て手作業です。  
その手作業のための工具や機械も手作りです。

何の飾り気もないすました顔をしているけれど、実は特別なアイ  
デアがいっぱい詰まったアンプと、ただの筒にしか見えないけれど  
フルオーケストラの音域まで余裕で再現してしまうスピーカーは、  
ともに世界中の技術者が半世紀以上がんばっても解決できなかった  
命題をクリアした、世界唯一のハイテク機器なのです。

いまだに大量生産はできませんが、本土返還前から四十年以上も  
コザ・知名家の家内制手工業として地道に独創的なオーディオを生  
み出しつづけています。

詳しくは  
TINA AUDIO 東京  
HP <http://tina.audio>  
mail [info@tina.audio](mailto:info@tina.audio)



プログラム

## 曲目

1. シューマン 『子供の情景』 [17" 49]  
演奏 ウラディミール・ホロヴィッツ (ピアノ)  
米・CBS コロンビア 1963 年録音
2. ショパン 夜想曲・練習曲・前奏曲 [24" 01]  
演奏 サンソン・フランソワ (ピアノ)  
英・EMI 1958 年録音
3. バッハ 無伴奏チェロ組曲第 3 番ハ長調 BWV1009 [19" 13]  
演奏 ヤーノ・シュタルケル (チェロ)  
米・ピリオド 1950 年録音
4. シューベルト アルペジョーネ奏鳴曲イ短調 D.821 [28" 40]  
演奏 ムスチスラフ・ロストロポービッチ (チェロ)  
エドワード・ベンジャミン・ブリテン (ピアノ)  
英・デッカ 1968 年 7 月録音

演奏曲以外にも入口付近にレコードを並べています。

お好みの曲がございましたら遠慮なく、レコード担当者に  
リクエストしてみてください。